

これまでの受賞者・論文題目一覧(2021年は休止)

	種別	大学名	氏名	所属
第9回 (2024年)	優秀賞	<パーリ律>と『サマンタパーサーディカー』にみられる僧団内役職 — セーナーサナカンダカを中心として —	山本 茂	佛教大学大学院
	松江市長賞	中世東寺教学における即身成仏思想の形成	赤塚 智弥	東京大学大学院
	奨励賞	(該当なし)		
第8回 (2023年)	優秀賞	菩提分法の研究——パーリ注釈文献を中心にして	伊藤 有佑	東京大学大学院
	松江市長賞	徳川後期における「形而上学的共和国」の源流 ——横井小楠と元田永孚の儒学的 視座から	田 得霖	名古屋大学大学院
	奨励賞	鈴木大拙『日本的靈性』の成立についての一考察 —1940年代の西谷啓治の思想との比較で—	小貫 稜	中央大学文学部
第7回 (2022年)	優秀賞	(該当なし)		
	松江市長賞	現代中国における伝統文化の教育と学習 ——民間に見る文化としての仏教の実践	朱 弈	一橋大学大学院
	奨励賞	(主論文)『維摩経』の研究—「不二」(ad vāya) 思想を中心として— (副論文)『維摩経』「入不二法門品」の梵・蔵・漢訳の比較研究—特に支謙訳の特質を中心として—	張 亮	龍谷大学
第6回 (2020年)	優秀賞	六朝期における陶淵明評価 —「古今隠逸詩人の宗」をめぐる—	熊 征	北海道大学大学院
	松江市長賞	(該当なし)		
	奨励賞	近代知識人の日蓮観—姉崎正治を中心に—	石井 阜晶	立正大学
第5回 (2019年)	優秀賞	近代日本仏教における戒律復興運動の展開 —釈雲照の思想と行動を中心として—	亀山 光明	東北大学大学院
	松江市長賞	インド古典音楽論書の研究 -Samgitaratnakara第1章第1・3節を中心に-	徳武 太郎	広島大学
	奨励賞	十二支縁起説の構造 —ブツダの修行に着目して—	栗木 亮学	駒澤大学
第4回 (2018年)	優秀賞	清代の荀子再評価:「十六字心伝」から恵棟(けいとう)まで	張 瀛子	東京大学大学院
	松江市長賞	『教行信証』における『十住毘婆沙論』引文の位置 —般舟三昧から称名念仏への転形—	大胡 高輝	東京大学大学院
	奨励賞	古代インドにおけるKūrma「亀」	坪田 さより	大阪大学
第3回 (2017年)	優秀賞	プラジュニャーカラグプタの知覚論-知と対象の関係の考察-	横山 啓人	筑波大学大学院
	松江市長賞	初期禅宗文献『観心論』の研究	通 念	東洋大学大学院
	奨励賞	瑜伽師地論菩薩地の研究—戒品について—	田代 恭菜	立正大学
第2回 (2016年)	優秀賞	Śikṣāsamuccayaにおける制戒(samvara)の授受について —「布施波羅蜜という名前の第一章」を中心として—	鈴木 伸幸	東洋大学大学院
	松江市長賞	山鹿素行思想の全体像 -その思惟構造と一貫性についての考察-	時政 和輝	京都大学大学院
	奨励賞	中世ジャイナ教空衣派の新興勢力ターラン派と 開祖ターラン・スヴァーミーの研究	是松 宏明	東洋大学
第1回 (2015年)	優秀賞	『パダマーラー』を中心とした『サツダニーティ』の研究	渡邊 要一郎	東京大学大学院
	松江市長賞	愛は世界を混乱させるのか -『マハーバーラタ』における愛とクシャトラダルマの相克-	伊藤 頼人	東洋大学大学院
	奨励賞	「偶然」に見出だす意味 —「偶然—必然」という繋がり—	庄司 勝利	島根大学